

# エアコンガスの漏れを防ぐ!!

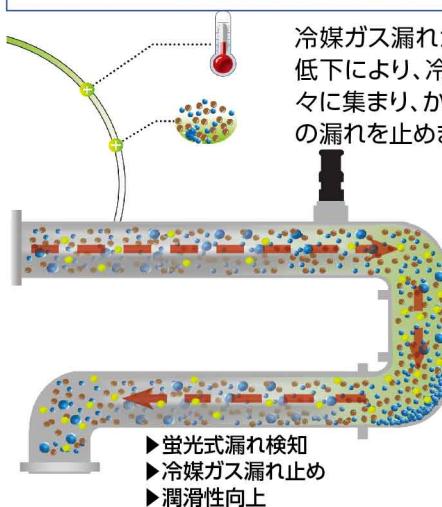


## 蛍光剤、潤滑油入り漏れ止め剤

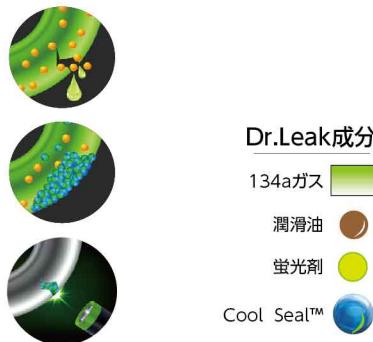
# Dr. Leak ドクターリーク

「Dr. Leak」とはA/C漏れ止め剤、蛍光剤、潤滑油、R134aガス入りの極めて「機能的」かつ「高品質」なプレミアム品です。

### Dr. Leakの漏れ検知&漏れ止めの図



冷媒ガス漏れが発生する際に、その部位の圧力と温度の低下により、冷媒ガス配管の外側から内部の表面まで徐々に集まり、かさぶた状のシール油膜を形成し、冷媒ガスの漏れを止めます。



#### Dr. Leak成分:

- 134aガス
- 潤滑油
- 蛍光剤
- Cool Seal™

- 安全性**  
SAE J2297規格認定品。  
ノーポリマー配合。  
国内外カーエアコン&回収器メーカーによるテスト済
- 即効性**  
注入後15~30分ほどで、微量な  
冷媒ガス漏れはほとんど止まる
- 永続性**  
漏れ止め効果、漏れ検知効果はカーエアコンの中に循環される限り  
は、永続的に予防
- 経済性**  
従来のカーエアコン修理費用より  
はるかに経済的な価格
- ブランド性**  
世界カーメーカーで新車出荷時に採用されている特許品と純正品を使用している

### 注意

使用直前に必ず缶を振り、逆さまの状態で使いきってください。  
残量があれば、ガスが飛び散るおそれがあります。  
※詳しくは、箱に記載の取扱説明をご確認ください。

### 使用方法 まずは、エンジンをかけ、エアコンを最低温・風量最大に稼働させ、下記の順に従って、ご使用ください。

- ①注入ホースの缶切りバルブを反時計回りに回し、缶切りバルブの針を上まで上げてください。
- ②缶切りバルブにDr. Leak缶をセットし、缶切りバルブのリング部分を缶に密着するように、締めてください。
- ③車両のエアコン低圧側(L)サービスポートに注入ホースのクイックカプラをセッ  
トし、缶切りバルブとホースの接続口を冷媒ガスが徐々に開放しながら、ホー  
ス内のエア抜きをし、確実に締め直してください。
- ④缶切りバルブを時計回りに回し、必ずDr. Leakを逆さまにし、よく振ってからすぐ  
に缶切りバルブを全開にしてください。ガス圧で押し込み、数秒で注入します。2  
分間程度、Dr. Leakを逆さまにしたまま、エアコン圧力で透明ホースなどに残留  
した漏れ止め剤を吸い込むようにしてください。
- ⑤全量注入できたら、飛散を防ぐために、ウエスでカバーしながらクイックカプラ  
を外してください。もし飛散した場合はパーティクリーナーなどで素早く洗浄し拭  
き取ってください。

## LINE UP



### Dr.Leak

品番 79366

10本／CS

JAN4545794005139

第4種第四石油類

蛍光剤+漏れ防止剤

蛍光剤入りクールシール…13g

潤滑油 ………………7g

R134aガス……………30g

PAGオイル専用

(ベルト駆動コンプレッサー)



オイルの  
色イメージ

### Dr.Leak注入ホース

品番 79370

JAN4545794005092



### Dr.Leak-POE

HV/EV車専用

ドクターリークPOE

かさぶた状のシール油膜を形成し、冷媒ガス漏れを止めます。  
蛍光剤で漏れを検知し、永続的に予防します。

AR-GLO5E  
新蛍光剤入り

ASTM D877試験  
絶縁耐力値  
テスト済

ASTM D1169試験  
絶縁抵抗値  
テスト済

品番 79372

10本／CS

JAN4582513100249

第4種第四石油類

蛍光剤+漏れ防止剤

蛍光剤入りクールシール…13g

潤滑油 ………………7g

R134aガス……………30g

POEオイル HV/EV専用

(電動コンプレッサー)



オイルの  
色イメージ

### Dr.LeakPOE 注入ホース

品番 79373

JAN4582513100256



## Q & A

### Q なぜ漏れが止まるのか？

A エアコンシステム内は、真空・高圧（外気圧の1/2）になっている為、漏れが発生した場合、内部の圧力や温度が下がると、クールシール（漏れ止剤）が漏れた部分に徐々に集まり、かさぶた状のシール油膜を作り、フタをします。

### Q エアコンシステム内や、エアコンリフレッシャー内で固着はしないか？

A オイルベースの漏れ止めを使用しているので、システム内又はエアコンリフレッシャー内で目詰まりや固着する事はありません。

Dr.Leakのクールシール（漏れ止め剤）粒子が0.001mm以下の大きさ。エキスパンションバルブの穴は0.5～2mmですので、粒子は詰まりません。

### Q 注入後にエアコンリフレッシャーの使用は？

A 注入後にエアコンリフレッシャーを施工しても問題ありません。  
※Dr.Leak注入後、施工しても問題ありません。リフレッシャーのフィルターを目詰まりさせる事はありません。エアコンフラッシングは行わないでください。

### Q Dr.Leakの持続効果は？

A 漏れが発生しなければ、半永久的です。漏れがない場合はエアコンシステム内でオイルと一緒に循環しています。

### Q 施工出来ないお車は？

A コンプレッサー等の故障したお車や、あきらかに目視でガス漏れが確認できる車両、ハイブリッド車やEV車（電動コンプレッサー）は施工できません。

### Q 専用ホースを使用した方が良いのか？

A クイックチャージカプラーなどのホースで注入すると、一気にクールシールが注入されてしまうため、専用のホースを使用し、注入して頂いた方が良いです。

また、マニホールドやエアコンリフレッシャーなどからの注入はホースラインが長いので、注入はおすすめしません。

### Q 注入の目安は？

A 軽・普通車…1本。4tトラック～10tトラック…2本。大型バス…3本。

電装関連の修理は、点検で8,000円、修理で30,000円～50,000円かかるため、1本～2本の注入で漏れが止まれば、ユーザー様の負担も軽減されます。

### ●お問い合わせは